



〈登録商標〉神崎瓦四日窯ささだ2003-054464
日本伝統いぶし瓦窯元

 **光洋製瓦株式会社**

〒679-2101 兵庫県姫路市船津町5241-5
TEL.079-232-5295(代) FAX.079-232-7003
E-mail info@koyoseiga.co.jp

<http://www.koyoseiga.co.jp/>

取扱代理店





明治9年に開通した生野と姫路の飾磨港を結ぶ通称「銀の馬車道」。
その道筋の姫路市船津町(旧神崎郡船津村)周辺には良質の粘土が多く、
古くから瓦造りが行われていました。
大正12年創業の光洋製瓦をはじめ、昭和の初め頃まで多くの瓦屋が軒を並べ、
「神崎瓦」の名で全国に知られるようになりました。
一枚一枚丹念に磨きかけられ、4日間じっくり焼成されて生まれる光洋のいぶし瓦。
光洋自慢の単窯が並ぶ工場の奥には
四季を通じて豊かな表情をみせてくれる蓮池がゆったりと広がっています。
手間をかけずに本物は生まれません。光洋製瓦は今も神崎瓦の伝統を守り、
昔ながらの質の高い「いぶし瓦」をつくり続けています。

美しさの追求

守り続ける「みがき」工程

光洋製瓦は昔ながらの「みがき」工程を
今も大切に守っています。「みがき」とは、
焼成の前に、プレス機で成型された瓦の表
面を1枚1枚ヘラやコテで丹念に磨いて滑ら
かにする作業です。この手間をかけること
により「いぶし」がより美しくかかります。

強さの追求

「単窯1165度」による高温焼成、吸水率4.8%

いぶし瓦はゆっくりと温度を上げ、高温
で焼き締めることで、氷結して破損したり
変色することのない瓦になります。そうした
伝統工法を守り、1165℃の高温で焼成。吸
水率4.8%の、凍てない、色の変わることの
少ない強い瓦を造っています。

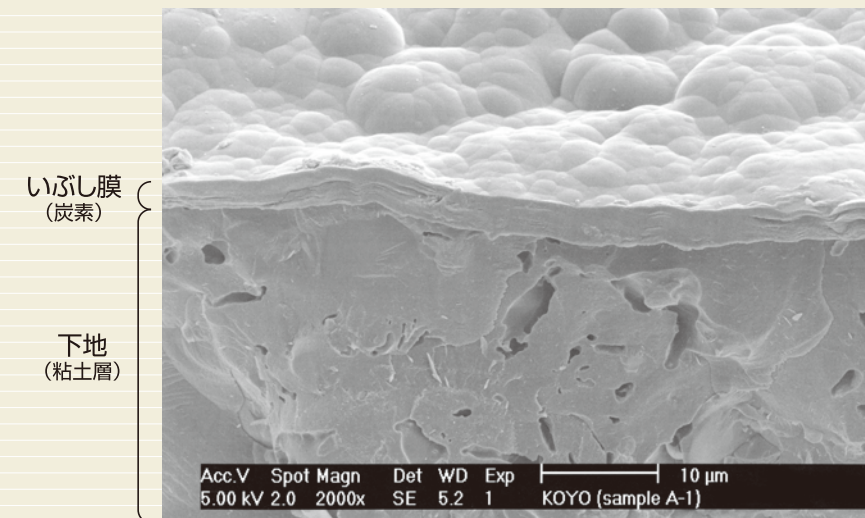
品質の追求

「神崎瓦四日窯ささだ」による4日間焼成

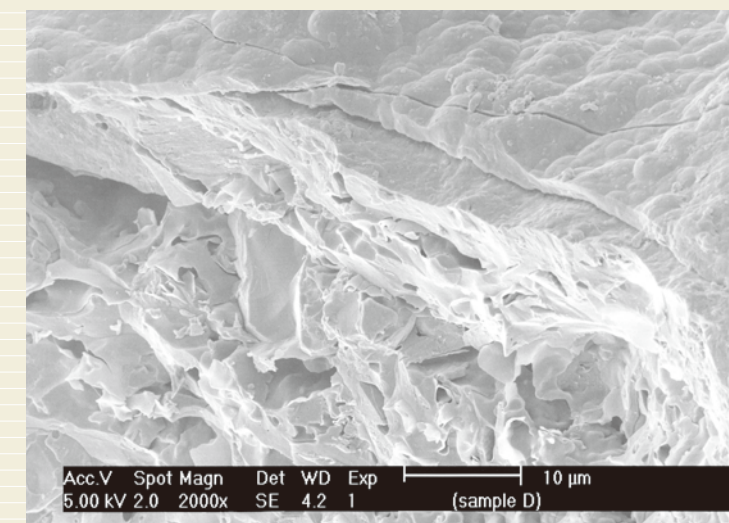
最近では単窯メーカーでも二日窯(2日間
焼成)がほとんどですが、光洋瓦はゆっくり
温度を上げていった後、いぶしをかけ、ゆっ
くりと自然冷却させる四日窯(4日間焼成)
で、肌荒れのない、まるで特殊鋼の様な強く
て美しい瓦になります。

顕微鏡写真で見た瓦の断面

じっくりと時間をかけることで生まれる丈夫で美しい光洋瓦。
堅牢ないぶし膜と目のつまった下地が強い瓦の証しです。



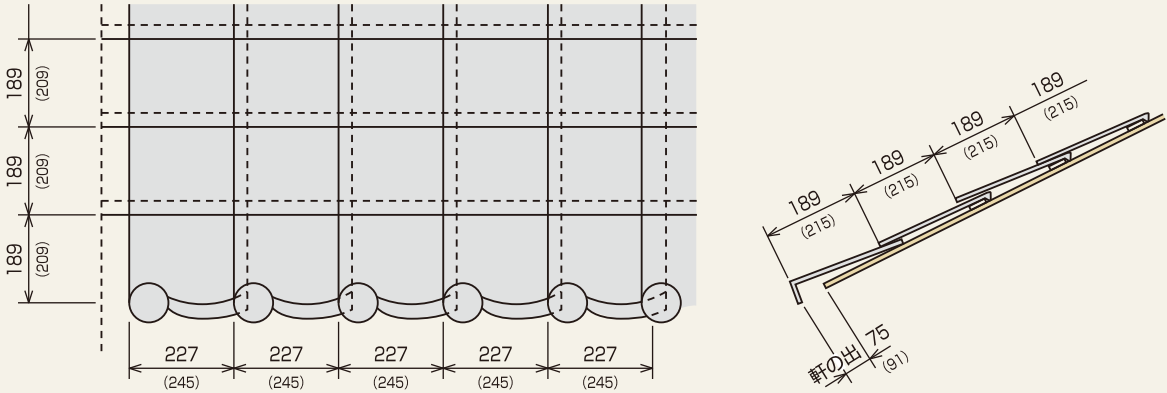
【光洋瓦】



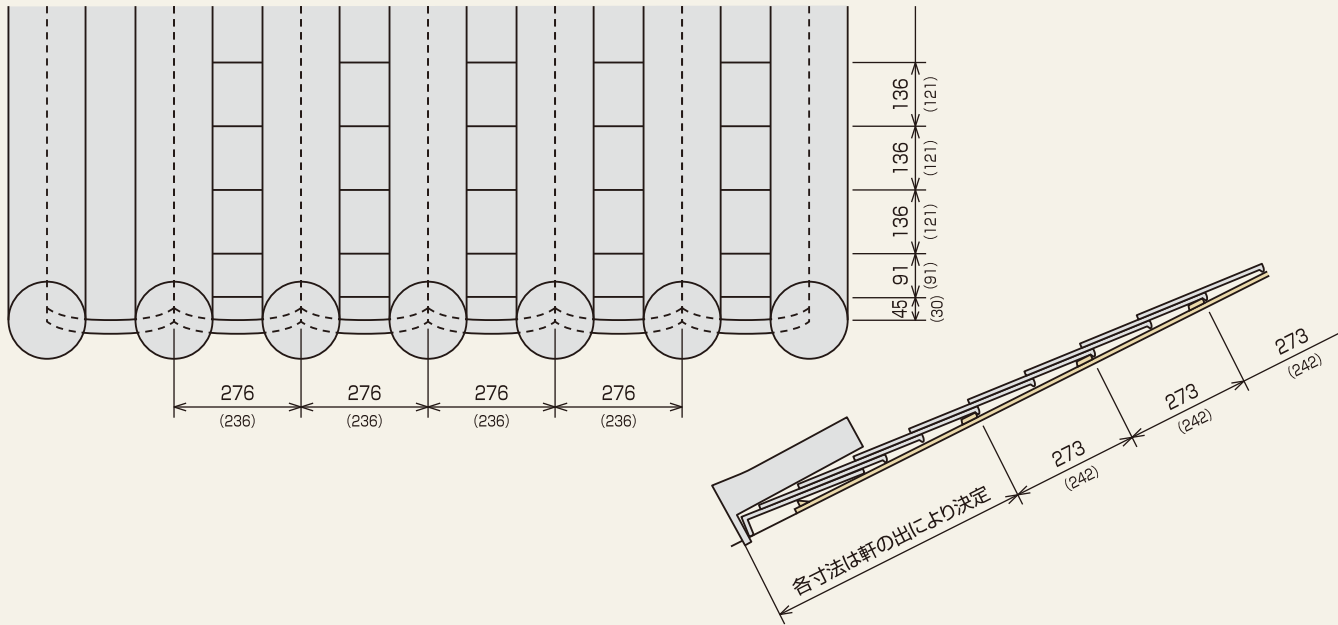
【一般のトンネル窯の瓦】

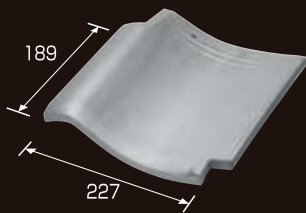
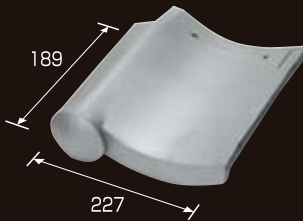
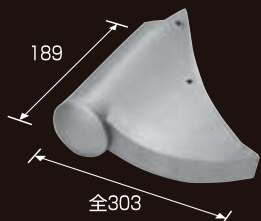
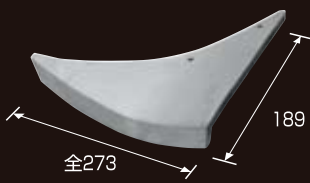
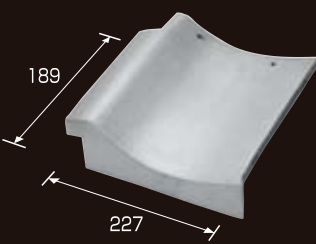
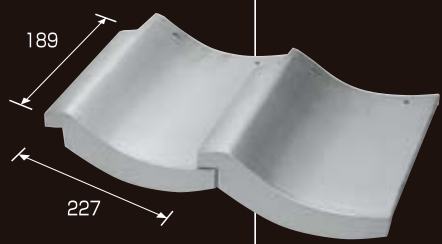
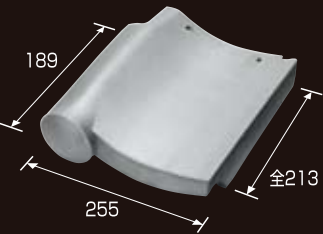
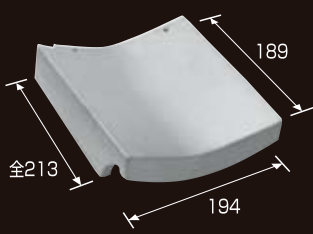
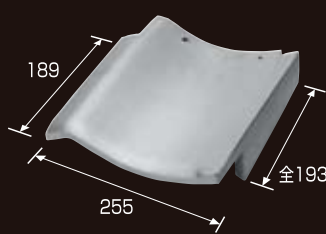
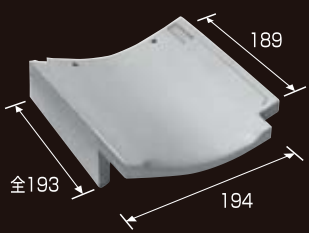
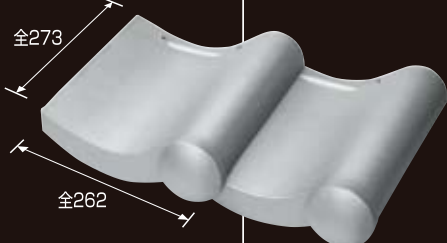
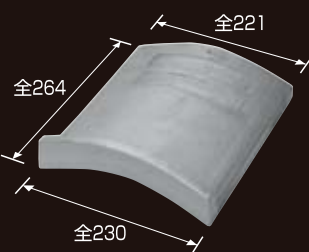
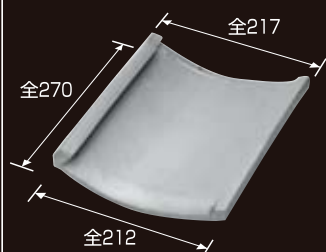
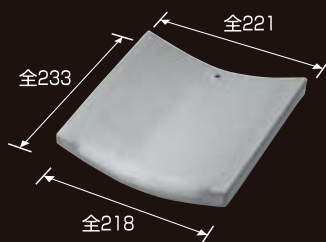
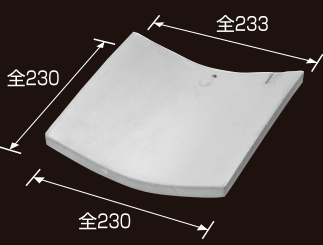
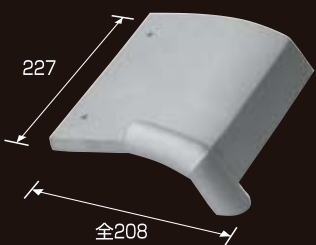
(撮影/兵庫県科学技術センター)

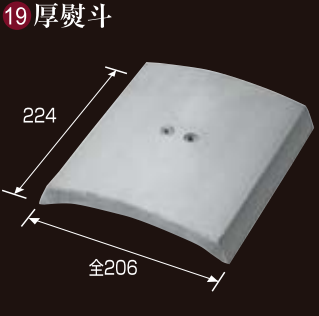
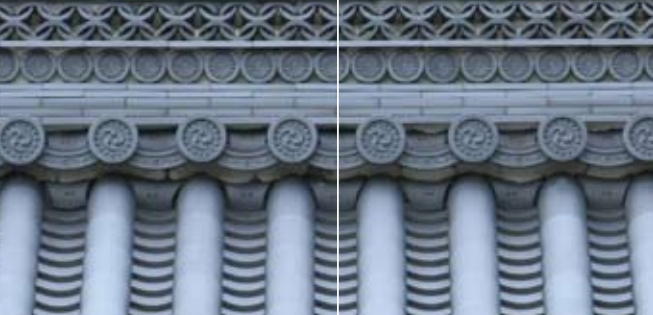
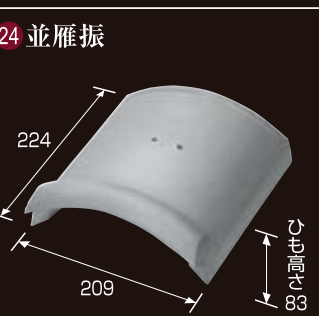
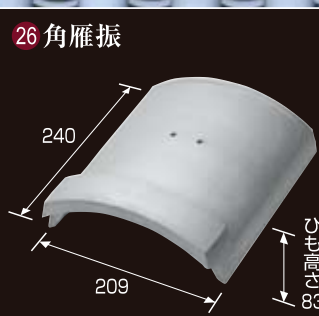
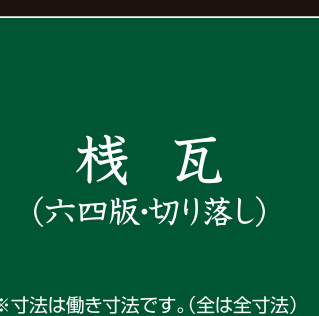
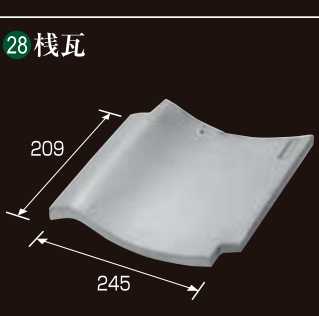
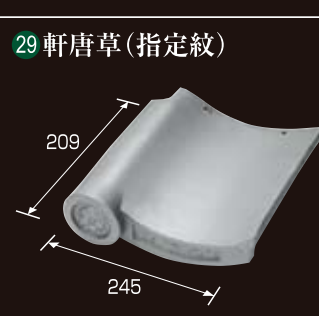
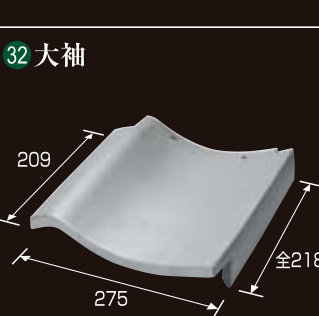
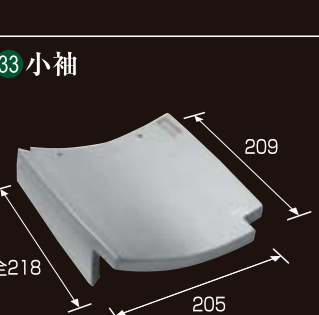
■割付寸法例(七二版) * () 寸法は六四版

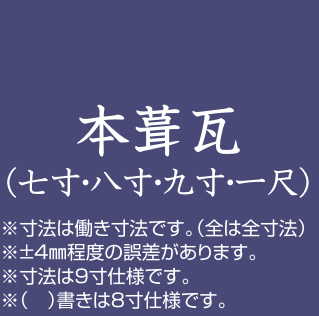
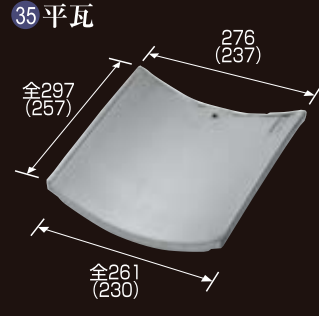
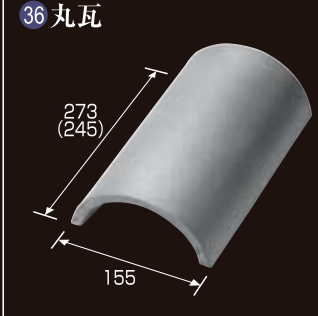
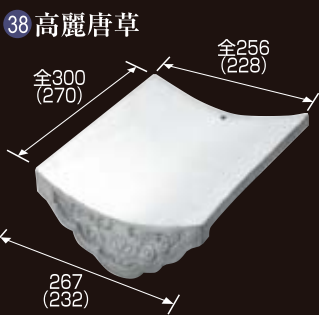
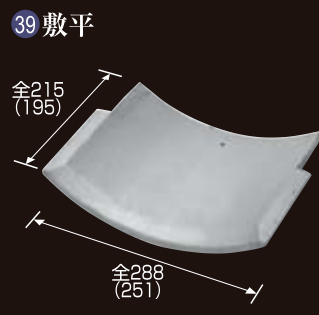
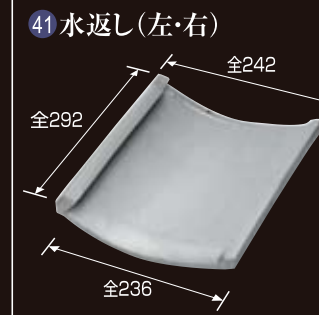
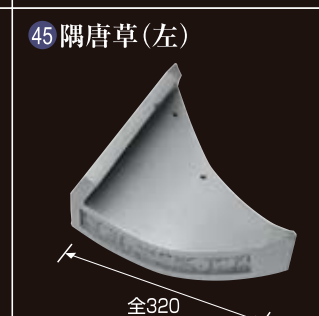
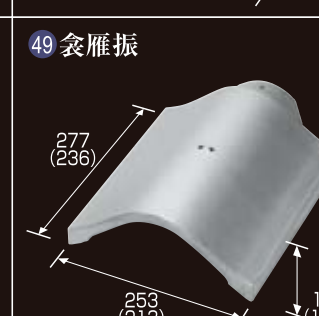
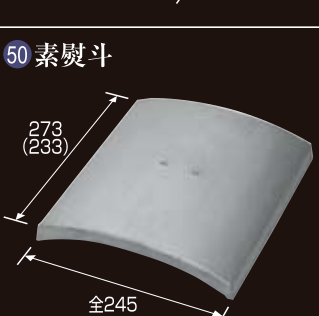
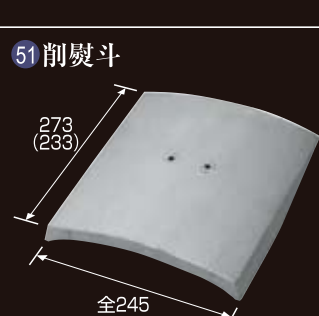
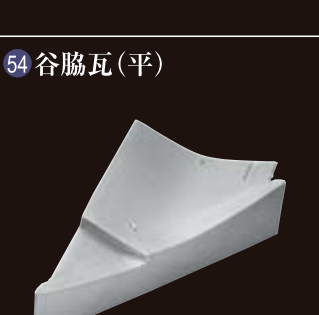


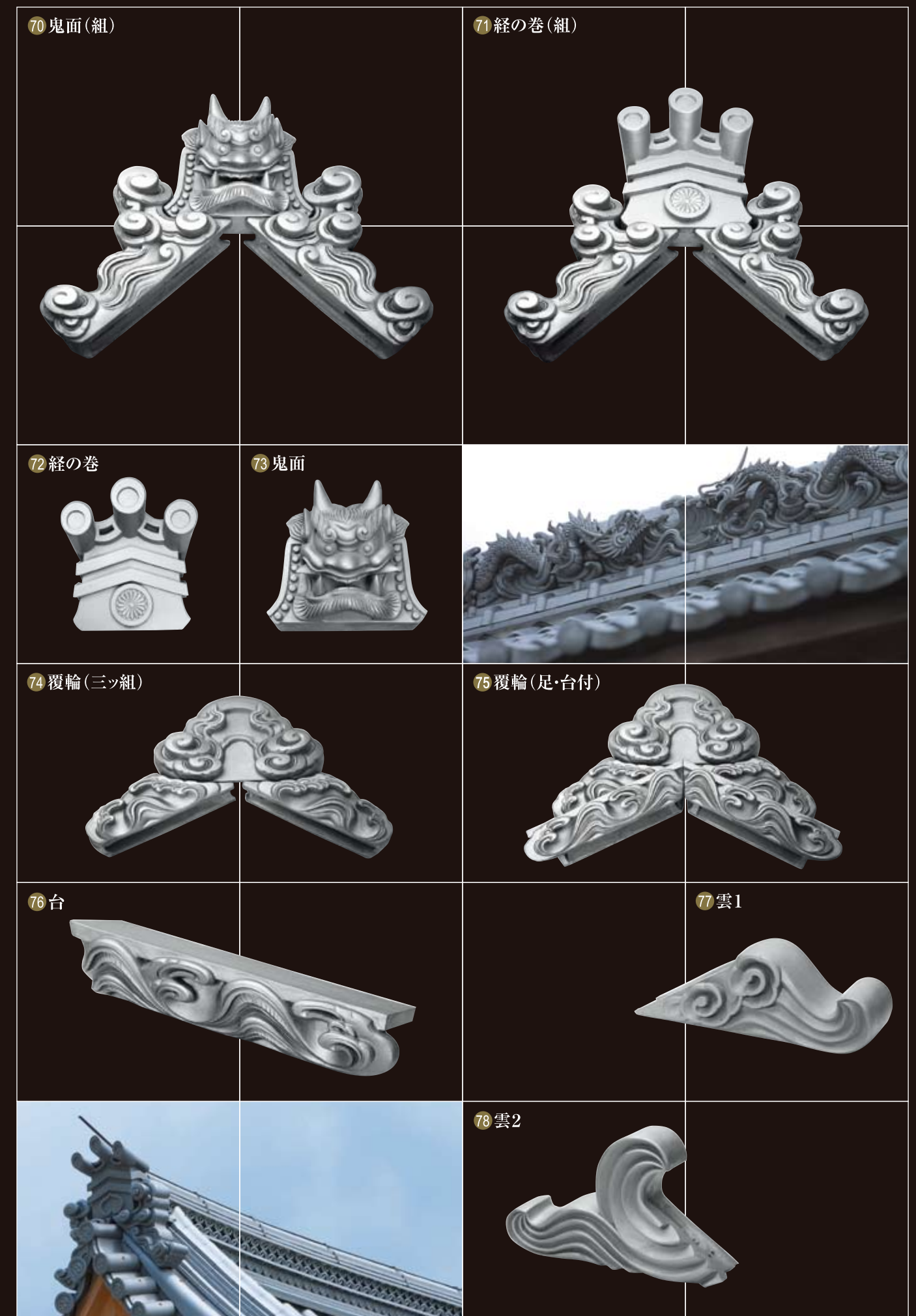
■割付寸法例(9寸) * () 寸法は8寸 * 葺き足寸法は9寸(4.5寸)・8寸(4寸)とする。



棧瓦 (七二版・面取り) ※寸法は働き寸法です。(全は全寸法) ※±4mm程度の誤差があります。	1 棧瓦 	2 万十唐草 	3 隅切唐草(万十) 
	4 隅切唐草(平草) 	5 一文字唐草 	6 鎌唐草 
7 大角 	8 小角 	9 大袖 	10 小袖 
11 簡略唐草(左・右) 	12 平草 	13 水返し(左・右) 	
14 丸巴(軒用・掛用) 軒用 全267 掛用 310 	15 本きざみ 		
16 平きざみ 	17 紐大面 		

18 組熨斗  全115 全100 221	19 厚熨斗  224 全206	20 棟面戸 	21 紐丸  139 227 177
22 切巴  267	23 隅巴  全303		
24 並雁振  224 209 ひも高さ 83	25 箱雁振  224 239 ひも高さ 83	26 角雁振  240 209 ひも高さ 83	27 京箱  大221 中221 小221 大180 中125 小82 ひも高さ
棧瓦 (六四版・切り落し) ※寸法は動き寸法です。(全は全寸法) ※±4mm程度の誤差があります。			
28 棧瓦  209 245	29 軒唐草(指定紋)  209 245	30 大角  209 275 全218	
31 小角  209 全218 205	32 大袖  209 275 全218		
33 小袖  209 全218 205	34 棟面戸 		

本葺瓦 (七寸・八寸・九寸・一尺) ※寸法は動き寸法です。(全は全寸法) ※±4mm程度の誤差があります。 ※寸法は9寸仕様です。 ※()書きは8寸仕様です。			
35 平瓦  276 (237) 全297 (257) 全261 (230)	36 丸瓦  273 (245) 155	37 平唐草(指定紋)  全256 (228) 全300 (270) 267 (232)	
38 高麗唐草  全256 (228) 全300 (270) 267 (232)	39 敷平  全215 (195) 全288 (251)	40 掛唐草(左・右)(指定紋)  全270 全292 全275	41 水返し(左・右)  全242 全292 全236
42 軒巴  327 (272) 167 (148)	43 掛巴  全373 (315) 167 (148)	44 隅唐草(右)  全320	45 隅唐草(左)  全320
46 アオリ大面  273 233	47 穴丸  273 (245) 155	48 袖丸(左・右)  273 (245) 足長さ 20~167	49 衾雁振  277 (236) 253 (213) 高さ 100 (100)
50 素熨斗  273 (233) 全245	51 削熨斗  273 (233) 全245	52 棟面戸(掛面戸) 	53 隅面戸(左・右) 
54 谷脇瓦(平) 	55 谷脇瓦(丸) 	56 鳥衾 	



置物

(特注・復元できます)

79 鬼鈴鬼面)



鬼鈴福面)



80 シャチ1



81 シャチ2



82 家紋台付)



83 鬼面



86 家紋1



鬼面



87 家紋2



93 鷹2



92 鷹



94 獅子1



95 獅子2



96 獅子3



99 達磨



97 恵比須天



98 布袋



102 龍1



101 大黒天



103 龍2

